



市民も元気! 地域も元気! 宇城市も元気!

ハートフル

うま

2016

5

月号

No.136

このたびの平成28年熊本地震による被災に際し
心からお見舞い申し上げます。



学生ボランティア、活躍! (災害救援物資仕分け作業)

『災害ボランティアセンター設置』

4月25日から、県博物館ネットワーク多目的広場(旧県自動車運転免許試験場跡)にセンターを設置し、県内外から多くの災害ボランティアを受け入れています。

事務局長就任あいさつ

この度、4月1日付けで宇城市社会福祉協議会の事務局長に就任させていただきました。

日頃より、市民の皆さまには、社会福祉協議会の事業推進につきまして、ご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

去る4月14日からの地震により被害をうけられました皆さまに、心からお見舞い申し上げます。社会福祉協議会としましても微力ながら被災された方々の支援活動を最優先に取り組んでおります。今回の災害により、より近い隣近所との日頃のお付き合いや支え合いの大切さを実感いたしました。

社会福祉協議会では、地域が抱える様々な生活課題への対応や相談・支援体制の強化を各関係機関と連携を図り取り組んでいるところであります。

しかしながら、今後少子高齢化を背景に、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯等、高齢者人口の増加に伴い、医療や介護サービス以外にも、日常生活の支援を必要とする方が増えることが見込まれます。

そのような中、昨年は介護保険法の改正など、社会保障制度の見直しに加え、今後も多様化するであろう住民のニーズに 대응していくためには、地域の皆さまの支え合いによる地域福祉事業の推進が重要になります。

今後は、ボランティア団体、民生委員児童委員協議会、社会福祉施設などの関係団体や市民の皆さまの参加・協力のもと「人と人がつながりともに支え合う地域づくり」の実現を目指してまいります。

どうぞ今後もなお一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



野田 眞

平成28年度社会福祉法人 宇城市社会福祉協議会事業計画・予算

基本方針

少子・高齢社会の進展と個々の福祉ニーズの多様化は年を追うごとに複雑になってきております。

昨年4月の介護保険法の改正では、社会福祉協議会は地域住民の協力はもとより民間事業者やNPOと連携し、住民が生活支援・介護予防サービスを利用できる地域づくりの整備に取り組むことが望まれています。特に大きな改正点として、平成30年度には要支援認定者の介護予防サービス（訪問介護・通所介護）が、各市町村独自の介護予防・日常生活支援事業（新総合事業）へ完全移行することになります。

東西に広がる宇城市において、高齢化率をはじめ社会資源に至るまでその地域性が異なるなか、地域の実情に応じた地域住民相互の支え合い、助け合い体制の構築は喫緊の課題であります。このような状況を踏まえ第2期地域福祉活動計画の2年目にあたり、基本理念である「人と人とがつながりともに支え合う地域づくり」の実現に向け、地域福祉に関する意識づくり・人材育成に取り組み、活動の根幹となる地区福祉会の更なる基盤強化に取り組めます。

地域包括支援センター課においては、高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように包括的および継続的な支援を行う地域包括ケアの推進を図ることを目的に事業を推進してまいります。また、認知症対策業務として、認知症予防教室を開催し、認知症の発症や進行を予防し、いきいきとした生活が送れるよう支援します。

社協を取り巻く財政面の状況は年々厳しく、今後は経営上の様々な問題を検討する際に専門家の経営分析や経営基盤強化計画を策定することが求められてきております。県社協との連携、県市町村社協連合会の取組みをもとに社協の経営、基盤強化、職員の資質向上に努めます。

重点目標

この基本方針を達成するために、次の項目について特に重点目標として取り組みます。

- (1) 地区福祉の推進と支え合い活動の充実
- (2) 介護予防推進支援事業の拡充
- (3) 地域包括ケアシステムの構築
- (4) 財源確保と労務管理に根ざした法人経営への取り組み

事業計画 (主な事業を掲載)

- (1) ニーズの把握と支援体制づくり(避難行動要支援者システム事業、福祉座談会の開催)
- (2) 高齢者福祉の推進(介護予防普及啓発事業、介護予防推進支援事業、安心生活サポート事業)
- (3) 障がい者福祉の推進(児童発達支援事業、障がい者福祉スポーツ大会、当事者組織の支援)
- (4) 児童・ひとり親福祉の推進(子ども劇場、ファミリーサポートセンター事業、子育てひろば事業)
- (5) ボランティア活動の充実(ボランティアセンター事業、ワークキャンプ事業)
- (6) 福祉教育と啓発促進(児童・生徒のボランティア活動普及事業、地区福祉会リーダー研修会)
- (7) 地域及び在宅福祉の推進(校区・地区福祉会推進事業、地域福祉権利擁護事業)
- (8) 地域包括支援センター事業(総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、介護予防ケアマネジメント業務、認知症総合支援業務、在宅医療・介護連携推進業務、脳いきいき教室・サポーター養成等事業)
- (9) 社協経営基盤の強化(会員制度の啓発と加入促進、共同募金活動の強化、日赤宇城市地区事務業務)

平成28年度 収支予算総額 3億8,205万3千円

収入の部

(単位：千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	比率	説明
会費	10,300	10,500	△200	2.7%	一般、特別、賛助会費
寄附金	11,500	10,500	1,000	3.0%	香典返し、一般寄附
経常経費補助金収入	74,302	80,696	△6,394	19.4%	市補助金収入 共同募金配分金
受託金収入	42,082	38,345	3,737	11.0%	県・市受託金収入
事業収入	591	382	209	0.2%	負担金、利用料
介護保険収入	173,016	149,856	23,160	45.2%	介護保険収入、市介護保険受託事業収入
障害福祉サービス等事業収入	16,631	18,251	△1,620	4.4%	児童発達支援事業収入
受取利息配当金収入	60	860	△800	0.1%	利息
その他の収入	2,406	2,191	215	0.6%	退職共済預け金差益、施設利用料
拠点区分間繰入金収入	1,500	1,500	0	0.4%	
その他の活動による収入	11,397	11,911	△514	3.0%	退職預け金取崩し
前期末支払資金残高	38,268	33,911	4,357	10.0%	
合計	382,053	358,903	23,150	100.0%	

支出の部

(単位：千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	比率	説明
法人運営拠点区分	80,737	94,017	△13,280	21.1%	法人運営経費
地域福祉拠点区分	21,959	18,960	2,999	5.7%	地域福祉権利擁護・生活福祉資金、成年後見事業団体助成金、地区・校区福祉会助成金
共同募金配分金拠点区分	6,477	7,016	△539	1.7%	老人、障がい者、児童・青少年、ひとり親世帯福祉活動、福祉育成・援助活動、ボランティア活動育成の各種事業
施設管理拠点区分	29,661	35,379	△5,718	7.8%	福祉センター等指定管理施設運営費(4施設)
子育て支援拠点区分	7,198	6,328	870	1.9%	ファミリーサポートセンター・子育てひろば運営経費
地域支援事業拠点区分	74,192	58,184	16,008	19.4%	介護予防普及啓発事業運営経費
児童発達拠点区分	15,673	16,109	△436	4.1%	児童発達支援事業あゆみの森運営経費等
地域包括支援センター経理区分	109,778	88,987	20,791	28.8%	地域包括支援センター運営費等
拠点区分間繰入金支出	1,500	1,500	0	0.4%	
その他の活動による支出	11,461	10,813	648	3.0%	退職共済掛金
予備費	23,417	21,610	1,807	6.1%	
合計	382,053	358,903	23,150	100.0%	

子育てひろば通信

～乳幼児（0～3歳くらい）と保護者が
自由に楽しく遊べる空間～

5月開設カレンダー ○ひろば開設日（午前10:00～午後3:00）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 音楽あそび	7
8	9	10	11 絵本の日	12	13	14
15	16	17 ミニミニ講座	18 製作あそび	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※音楽あそび・絵本の日・製作あそびは午前11時から11時30分までになります。

◎ミニミニ講座 17日(火)午前10:30～11:30

「フラエクサ」<予約制>

場所：子育てひろば

講師：中塚よねこさん

「フラエクサ」とは、骨盤を意識しながら動かし、事によりカラダを美しく、インナーマッスルも鍛えられる万能骨盤体操です。「フラ美クス、おやこヨガ」でココロもリフレッシュ。肩こり、腰痛も解消されます。みんなで体を動かしてみましょう。

5月9日（月）から受け付けます。（先着12組）

◎育児・悩み相談 随時受け付けています

たくさんのおもちゃがあつて、いつも夢中で遊んでいます。



政宗(まさむね)くん



たくさんの笑顔の写真を紹介します。

ほのほの



万喜(まき)ちゃん

すべり台で遊ぶのが大好きです。

●問い合わせ 子育てひろば TEL 32-1316（内線3301）

通いの場通信

この事業は、週一回地域の公民館に集まり、いきいき百歳体操などを行い、住民主体の通いの場を充実させ、住み慣れた地域で自立して生活できるよう支援していくことを目的としています。

松橋町竹崎地区で「いきいき百歳体操」が始まりました！

3月22日、竹崎地区福社会（本崎弘会長）では約40人が参加し、いきいき百歳体操を行いました。参加者は、各自目標を立て「この体操を頑張れば杖を使わんで歩けるようになるかな」など参加者同士の会話も楽しまれていました。

今後は毎週火曜日の13時30分から開催されます。



脳いきいき教室 第2期がスタートしました！

認知症予防を目的とした「脳いきいき教室」は、4月1日より第2期がスタートしました。川畑智氏（株式会社 Re 学代表取締役）を講師に迎え、脳いきいきサポーターの支援で教室は運営され、第1期を上回る33人が受講し、笑いが絶えず初回の教室は終了しました。

教室は随時参加可能です。みなさんも参加してみませんか。

第1期生は、半年間のプログラムを終了され、受講者の大半に効果がみられました。

第1期生のコメント

他の受講者と楽しい時間を過ごしています。2時間があっという間で、頭と体を十分に使い、生活でも意識が変わりました。



問い合わせ 地域包括支援センター TEL 25-2015

ちいきのすこやかさん

今月は、不知火町にお住まいの
西山カツ子さん（92歳）をご紹介します。

Q 毎日の楽しみを教えてください。

A 手芸を15年続けていました。編み物は大好きで時間がある時にはしています。ほとんど毎日友人宅に行き、おしゃべりするのが楽しみです。
(写真のベスト、バッグはご自分で作られました)

Q 元気の秘訣を教えてください。

A 朝起きてからすぐにベッドの上でストレッチをします。テレビ体操をしたり、永尾神社付近を30分程杖なしで散歩します。料理を作るのが好きで、いろいろな料理を作って食べます。



とても穏やかで温かな印象でした。ひとり暮らしは23年になられますが、買い物などは近所に住んでおられる息子さんが協力されているそうです。いつまでもお元気でお暮らしてください。

『ちいきのすこやかさん』を募集します。地域で元気に過ごされている方、自薦他薦を問いません。ぜひ、ご紹介ください。《問い合わせ》地域包括支援センター TEL 25-2015

ボランティア通信

ボランティア主催による茶話会の開催

松橋町曲野区の大野橋・左近田・宮ノ下地区では、行政区を単位とした地区福祉会より小さな範囲で、ボランティアによる住民交流の場として、月に1回サテライトしらぬい荘の地域交流室で、茶話会が開催されています。3月27日は、30人が集うなか地元の方による、地震発生時に自分の身を守る対応と、日頃からの対策について講話がありました。また、ボランティアグループによる大皿回しや紙芝居を見た後、「青い山脈」を元気いっぱい大きな声で歌い楽しい一時を過ごされました。最後に3月生まれの方に手作りのメッセージカードのプレゼントがあり、参加者から「毎月楽しみに参加している、今後も続けてほしい」との話がありました。主催者の一人の高野和幸さんは、次回は1周年記念のイベントを企画したいと話されていました。



●問い合わせ・申し込み ボランティアセンター TEL 32-1316

福祉会のひろば

地区福祉会が誕生

小川町の野添地区福祉会（蔦原登喜夫会長）が4月から発足し、4月3日に初めてのサロンを開催されました。29人が参加し、福祉会の説明を聞き、体操やレクリエーションなどをみんなで行いました。参加者から「久しぶりに笑った」「楽しかった」という声が聞かれました。今後も定期的で開催されます。



塩屋浦地区で災害に備えて学習会を実施！

4月3日（日）、不知火町塩屋浦地区福祉会（満崎安区長）では、地区公民館に約50人が集い、防災学習会を開催しました。社協職員の指導によって、災害時の炊き出し訓練では特殊なハイゼックス袋（包装食袋）を使った米詰め作業体験や、家庭での日頃からの備えについて等の講話がありました。



参加者は、終始熱心に取り組まれ「炊き出しの方法を知ることが出来た」「参考になった」等の感想が聞かれました。

今後も、災害に備えた訓練を継続的に実施することで、地域の防災力が高まることが期待されます。

※炊き出し訓練など希望される地区は気軽にご相談ください。

寄附お礼

次の方々よりご寄附をいただきました。

(平成28年3月16日)

平成28年4月15日受付分)

一般寄附

小篠 武明 様 不知火町 金一封

香典返し寄附

ご遺族の方々に心より哀悼の意を表し、故人のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

三角町

寄附者	故人名	行政区
畑本 進 様	畑本マツノ様	里 浦
中尾 幸弘様	中尾 幸生様	本 町
村田 達也様	村田ツギエ様	打 越
木村 直幸様	木村ツルエ様	内 潟
嶋田 正稔様	嶋田ツヨ子様	田 井 浦
長田 和一様	長田ミツヨ様	熊 本 市
天川 秀康様	天川ミサオ様	内 潟
佃 千代子様	佃 ヨブ子様	三角本村
中村 幸男様	中村アツ子様	内 潟
吉田ヨシエ様	吉田 等 様	塩 屋

矢澤 ミス子様 矢澤 又喜様 矢 崎

平原 節子様 尾崎 敏子様 内 潟

松内 正光様 松内フサエ様 小田 良

下田 幸子様 下田 源二様 向 山

鮎川美佐子様 平野シズエ様 熊本市

不知火町

寄附者 故人名 行政区

松浦 信一様 松浦ヨシメ様 塩屋浦

井手田あつ子様 井手田正孝様 浦 上

井上ミチ子様 酒井 細味様 長崎二区

田上 修 様 田上 マサ様 松 崎

松橋町

寄附者 故人名 行政区

岡山 昇 様 岡山 正英様 曲野北

西富 徳夫様 西富 愛子様 7 区

村上 芳彦様 村上 芳光様 内 田

島田キミ子様 島田 國吉様 島

松岡みえ子様 松岡 保 様 曲野南

富永 房枝様 富永 厚 様 9 区

坂川 正信様 坂川フサ子様 豊 福

荒牧タエ子様 荒牧 利徳様 豊 福

久山 高明様 久山 博子様 曲野北

福富ヨツ子様 福富 齊一様 両仲間南

岩田ツキエ様 岩田 由之様 浦川内

小川町

寄附者 故人名 行政区

槌田 順子様 槌田 正治様 野 添

西村トミエ様 西村 信夫様 南部田

安井 敏雄様 安井 ヒサ様 寺 町

和田 益江様 和田 貴 様 江 頭

大嶋 洋一様 大嶋 敏子様 三ツ丸

橋本 力 様 橋本 巴 様 北 出 村

岩清水幸一様 岩清水英昭様 表南小川

野田 美治様 谷川 廣美様 上 町

山口ヤス子様 山口 正己様 聖鬚櫛曇

江崎 賢二様 江崎フミエ様 日 岳 町

篠塚五十女様 篠塚 孝雄様 南 小 野

富岡 晃 様 富岡 俊男様 三ツ丸

豊野町

寄附者 故人名 行政区

盛 スミ子様 盛 慧雲様 中 間

松本 勝次様 松本タマエ様 北 山 崎

皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。またとともに地域福祉の推進のため大切に使用させていただきます。

なお、掲載内容は寄附者のご希望に添って掲載しております。

平成27年度 寄附金（香典返し等）報告

■寄附金実績

○寄附件数 539件

○寄附金額 11,049,372円

ご寄附いただきました浄財は地区福祉会（ふれあいいきいきサロン、見守りネットワーク等）の推進をはじめとする、子どもから高齢者を対象とした各種事業に活用させていただきました。ありがとうございました。

＋ 熊本地震災害義援金 ＋

日本赤十字社では4月に発生した災害で被災された方々を支援するために義援金を受け付けています。

ゆうちょ銀行 00130-4-265072 「日赤28年熊本地震災害義援金」
肥後銀行三郎支店（普）591893
「日本赤十字社熊本県支部 支部長 蒲島郁夫」

- その他
- ・ 救援物資（物品）の受付は行っていません。
 - ・ 受領証を希望される方は通信欄に受領証希望と記載してください。
 - ・ 税制上の優遇措置がございますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ 日本赤十字社熊本県支部 振興課
TEL 096-384-2120 FAX 096-383-9486

平成28年度共同募金配分申請(29年度事業)の募集を受付けます

【施設】	【団体】
民間福祉施設、保育所（認可外保育所含む）	民間福祉団体、NPO・ボランティア団体及び小規模作業所
<p>配分対象：</p> <p>①社会福祉法人である施設 （ただし、特別養護老人ホーム及び養護老人ホーム、有料老人ホームは原則対象外）</p> <p>②保育所（認可外保育所含む）</p> <p>対象経費：</p> <p>①施設備品の老朽化、破損等により緊急に修理及び購入を必要とするもの（備品整備）</p> <p>②施設利用者送迎用の車両の老朽化等による車両購入（車両整備）</p> <p>配分率：事業費総額の4分の3以内</p> <p>配分限度額：施設は300万円以内、保育所は150万円以内</p>	<p>配分対象：①県域を対象とする社会福祉団体及び更生保護団体 ②社会福祉事業活動を実施しているNPO・ボランティア団体</p> <p>対象経費：人件費等の経常経費を除く事業費及び備品整備費 配分限度額：50万円以内</p>
<p>全国共通配分テーマ</p> <p>【地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～】に添った社会的孤立の解消に向けた活動や事業に対して募集を行います。 （例）生活困窮者世帯の見守り活動、ホームレス支援活動、歳末見守り活動など</p> <p>配分対象：福祉団体・NPO法人・ボランティア団体など 配分限度額：50万円以内</p>	
共同募金受配表示：車両や備品等の文字入れ経費を含めて、総事業費を算出してください。	
募集期間：平成28年5月31日（火）まで	
配分決定：平成29年3月末（県共募の配分委員会で審査、役員会において配分決定）	
事業実施年度：平成29年度（平成29年4月から平成30年3月までの事業）	

※申請書類は熊本県共同募金会ホームページ及び宇城市社会福祉協議会に準備してあります。

問い合わせ 共同募金会宇城市支会 TEL 32-1316 FAX 32-6455

相談コーナー -ひとりで悩まず、まずご相談を-

認知症（物忘れ）相談

認知症の早期発見や、家族支援を目的に『宇城市認知症よろず相談所』を開設しています。

専門の相談員が無料で相談に応じます。
気軽にお越しください。

相談日 5月27日（金）
相談時間 午後1時30分～3時30分
相談場所 不知火支所2階
問い合わせ 地域包括支援センター
TEL 25-2015



福祉法律相談

法律に関する問題で、お悩みの人は、弁護士が無料で相談に応じます。（事前申し込みが必要です）

- 初めて相談される人を優先します。
- 現在係争中の事案など、相談内容によってはお受けできない場合があります。

期日 6月15日（水）
相談時間 午後2時00分～4時30分
相談場所 小川総合福祉センター
受付 5月19日から先着5件
申込先 地域福祉課 TEL 32-1316

